

一般質問



遠藤 浩 議員

通学路

安全確保の取り組み方針・対策実績は

教育長／財源をしっかりと捉えた予算執行

遠藤

昨年6月に、「広野町通学路交通安全安全プログラム」を策定しましたが、①継続した安全確保を図るため、PDCAサイクルを実施するとしています。②通学路危険箇所合同点検で対策が必要とされた箇所の対策実績は、

教育長

①推進会議を2回、通学路危険箇所合同点検を1回開催しています。②歩道への車両止め

③日々変化する交通事情を考え通学路対策箇所を示す「徒歩通学路線」を拡張し、効果の改善・充実を図り、交通事故等の危険度リスクを下げるべきではありませんか。



通学路交通安全推進会議合同点検の様子

駅前横断歩道の再塗装等は早急に対策し、側溝修繕等も進めています。③今年度も、保護者へ危険箇所のアンケートを行い、意見・要望を真摯に受け止め、より安全性の高い路線を推奨し、事故等の危険度を下げるべく、PDCAサイクルを実施し、安全確保に努めます。

遠藤

震災後運行してきたスクールバスが、今年度で終了となるようですが①各行政区ごとの小・中学生の人数は、②原則、学校までの通学を徒歩とする定めがあるのか、また、登校体制は学校と今後どのような対応をとるのですか。③将来的に徒歩通学が厳しい小・中学生に町民バスを無料で運行する考えはありますか。

登下校

学校との対応・町民バス運行は

教育長／町民バスを活用し対応したい

教育長

①町内は小学生151人・中学生67人、町外は小学生2人・中学生1人です。②通学を徒歩とする定めはありません。登校体制は、地区ごとに通学班の編制を行い、安全な集合場所を選定し、中学生を含めた集団登校を学校だけではなく、保護者の方々のご理解を求めています。③来年度以降は無料の町民バスを活用し対応したいと考えています。

一般質問



門馬 巧 議員

Jヴィレッジ新駅

駅設置後の展開はいかに

町長／設置について新たな負担はありません

門馬

2月、突然に負担額を提示され、その後協議や情報もなく、3月定例議会で1億7千3百万円余の負担額を決め、協定締結に至った事を、新聞報道で知るのみ、今も「図面・関係図書」を提示して一切の説明がありませんが、①駅舎の新たな負担額は発生しないのか。②エレベーター設置は、

櫛葉町側か本町側か。

③エレベーター設置の費用負担は発生しないのか。④駅前広場整備費の新たな負担金は発生しないのか。⑤それぞれの質問事項について維持費、後年度負担金等は、一切発生しないのか。⑥工事後に、清算金等の名目で負担増を求められる可能性はないのか。

町長

①駅舎の新たな負担は発生しません。②エレベーター設置箇所は、櫛葉町側です。③負担は発生しません。④基本協定の中で櫛葉町が負担することになっていきます。⑤維持費について、双葉地方町村会がJRと協議をします。⑥追加負担はありません。

認知症医療支援

具体的な支援内容はいかに

町長／適切な医療・介護サービスに結びつける

門馬

新聞報道で、双葉郡8町村は県立医大付属病院など3医療機関と認知症サポーター医の派遣協定を交わし、初期の認知症の人を、集中的に支援する専門職チームの設置が、今年度から各市町村に義務的政策になることの内容でしたが、①3医療機関とは、県立医大の他、この医療機関か。

②具体的にはどのような支援医療になるのか。③本町における保健師、介護福祉士等の人的充足面で問題はないのか。④国・県の補助はいつくるのか。

町長

①報道で3医療機関とありますが、公立大学法人福島県立医科大学付属病院と、福島県ふたば医療センター附属病院です。②認知症初期集中支援チームは、適切な医療・介護サービスに結びつけるための支援を、認知症の初期段階で行い、サポーター医は、戸別訪問で専門的な助言を行います。③現状では対象となる方が少ないことから、現状の人員で充足すると考えています。④国、県から、地域支援事業交付金の交付を受けています。



Jヴィレッジ新駅イメージ図